

データベースのもととなる文献一覧

分野	選定者	文献
商学	加藤俊彦氏(一橋大学商学研究科)	①沼上幹『組織デザイン』日本経済新聞出版社
		②伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門 第9版』日本経済新聞出版社
		③青島矢一・加藤俊彦『競争戦略論』東洋経済新報社
		④フィリップ・コトラー&ケビン・ケラー『コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第3版』ピアソンエデュケーション
		⑤砂川伸幸・杉浦秀徳・川北英隆『日本企業のコーポレートファイナンス』日本経済新聞出版社
経済学	岡室博之氏(一橋大学経済学研究科)	①奥野正寛『ミクロ経済学』東京大学出版会
		②中谷巖『入門マクロ経済学 第5版』日本評論社
		③南亮進・牧野文夫『日本の経済発展 第3版』東洋経済新報社
		④猪木武徳『経済思想』岩波書店
		⑤小川一夫・得津一郎『日本経済:実証分析のすすめ』有斐閣
国際政治学	大芝亮氏(一橋大学法学研究科:当時)	①村田晃嗣・君塚直隆・石川卓・栗栖薫子・秋山信将『国際政治学をつかむ』有斐閣
		②藤原帰一『国際政治』放送大学
		③野林健・大芝亮・納家政嗣・長尾悟・山田敦『国際政治経済学 入門』有斐閣
		④大芝亮・藤原帰一・山田哲也編『平和政策』有斐閣
		⑤五百旗頭眞編『戦後日本外交史 新版』有斐閣
		⑥馬橋憲男・高柳彰夫『グローバル問題とNGO・市民社会』明石書
法学	青木人志氏(一橋大学法学研究科)	①芦部信喜・高橋和之『憲法 第五版』岩波書店
		②大村敦志『基本民法 I 総則・物権総論 第3版』『基本民法 II 債権各論』有斐閣
		③佐久間修・上畠一高・橋本正博『刑法基本講義 総論・各論』有斐閣
		④六本佳平『日本の法と社会』有斐閣
		⑤中野次雄・佐藤文哉・宍戸達徳・本吉邦夫『判例とその読み方』有斐閣
社会学	中田康彦氏(一橋大学社会学研究科)	①伊豫谷登士翁『グローバル化とは何か 液状化する世界を読み解く』平凡社新書
		②江原由美子・山崎敬一『ジェンダーと社会理論』有斐閣
		③福井憲彦『歴史学入門』岩波書店
		④原純輔『社会階層と不平等』放送大学教育振興会
		⑤安彦一恵・谷本光男『公共性の哲学を学ぶ人のために』世界思想
		⑥綾部恒雄『文化人類学20の理論』弘文堂
		⑦小泉潤二『実践的研究のすすめ 人間科学のリアリティ』有斐閣